

6月23日：大型株の売りが重しとなり、VN指数は反落

大型株に多くの売りが出たことで、ホーチミン市場のVN指数は0.22%安の1,376.87ポイントと反落。同指数は1,380ポイントのレンジを維持できなかった。

同指数は午前中1,385ポイント付近まで買われたが、その後すぐに売られ前日比3ポイント安でこの日の取引を終えた。ここ4日間、同指数は1,370ポイント近辺で推移している。

ホーチミン市場の売買代金は約6%減少し、21兆1,200億ドン（9億2,100万米ドル）となった。騰落別では298銘柄が下落、94銘柄が上昇した。

またVN30指数の採用銘柄では、20銘柄が下落した。タインタインコン・ビエンホア製糖（SBT）は同指数の下落率でトップ。

同銘柄は3日続落し、合わせて5.3%下落した。

ファットダット不動産開発（PDR）とホアンファイ投資金融サービス（TCH）の不動産株はともに2.6%下落し、それに続いた。

さらにPVパワー（POW）が2%安、バオベトホールディングス（BVH）が1.8%安となった。

なおPVパワーとバオベトホールディングスは1月につけた高値から16%以上値を下げている。

一方でこの日は9銘柄が上昇した。株主に対して株式配当の実施と増資のための株式発行を提案したVPバンク（VPB）が4.5%と上昇率でトップ。

他にもベトコムバンク（VCB）が+2%、ヴィエティンバンク（CTG）が+1.5%と堅調だった。

外国人投資家はビンホームズ（VHM）、ベトコムバンク（VCB）を中心に計1,640億ドンを買越した。

ハノイ市場のHNX指数は0.41%安、UPCoM指数は0.07%安だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。